

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL: 03-5791-1808 FAX: 03-3443-1616 メールアドレス: information@j-jafra.jp

URL: <http://j-jafra.jp>



九州新幹線（鹿児島ルート）

1. 待望の全線開業

2011年3月12日、新八代～博多（約121.1km）が開業し、鹿児島中央～博多（約256.9km）の九州新幹線が全線開業を迎える。

鹿児島中央～博多は最速1時間20分に。九州内は「つばめ」として活躍中の800系・新800系が運行。鹿児島中央～新大阪は、JR九州・JR西日本に

2. JR鹿児島中央駅と隣接施設

2004年の新幹線暫定開業までの西鹿児島駅（現 鹿児島中央駅）は、「出張や旅行の時に行くところ」であった。しかしながら、いま、本年2月にリニューアルされた駅および駅ビルなど



九州新幹線 新800系

で共同運行の直通運転車両N700系が「さくら」「みずほ」として運行。同区間を最速3時間45分で結ぶ。来年3月、博多駅の新幹線開業から36年、鹿児島・九州に交通新時代が到来する。



鹿児島中央駅東口

の隣接施設は、大いに鹿児島のまちを盛り上げている。

鹿児島中央駅

乗降人員約34000人/日うち新幹線利用者約8600人/日。新幹線、指宿枕崎線、鹿児島本線、日豊本線の始発終着駅である。1996年6月現駅舎に移り、改札前の2Fコンコース（中央通路）が駅の東西の連絡通路を兼ねるようになった。2004年3月九州新幹線が暫定開業し、現駅名に変更された。リニューアルでは、駅舎の延べ床

巻頭レポート

鹿児島中央～博多、最速1時間20分の時代へ
「九州新幹線／2011年3月12日全線開業」を前に

キング鉄道広告株式会社
代表取締役社長
ちゅうまん

中馬 輝彦

面積は1.5倍の1万3000㎡となり、2Fコンコース（中央通路）は8.6mから13mに拡幅、駅東西の回遊性も高められた。テナント街「フレスタ鹿児島」（約7300㎡）も、26店舗から43店舗に拡充、核店舗のビックカメラ（約5500㎡）はじめ飲食主体の「ぐるめ横丁」、土産物中心の「みやげ横丁」と、駅は食事や買い物へ行く場所になった。

駅隣接施設

駅ビル「アミュプラザ鹿児島」は、2004年9月開業（約190店舗、駅東西にまたがる駐車場は1370台収容、年商約200億円）。駅の顔として、中心顧客層の10〜40代女性のみならず幅広い層の支持を得ている。6階屋上にある観覧車「アミュラン」は直径約60m、最高部地上約91mで、駅にいながら鹿児島市内、鹿児島湾、桜島を一望できる。今夏乗車150万人を突破。夜はイルミネーション多彩で、駅のランドマークとなっている。



駅ビルアミュプラザ鹿児島



鹿児島中央駅2Fコンコース（中央通路）

今春今秋に大規模改装、さらなる活況を見せる。

改札から同フロアでつながり徒歩0分の「JR九州ホテル鹿児島」も、今年3月増床オープンし、従来の138室から273室へ。フロントやロビーも、高級感あるスペースに改装された。

3. 鹿児島中央駅の広告について

九州において、広告料売上で博多駅に次いで2位。120以上の広告媒体がある。

2Fコンコース（中央通路・新幹線改札内・在来線改札内）は、内照式広告中心。改札ヨコには10社×15秒のデジタル媒体、クリスタルポスターもあり、九州内の主要駅とネットワーク掲出できる。リニューアルされた中央通路は、駅構内案内のサインと広告媒体のバランスもよく、すっきりした印象になっている。

1F在来線ホームであるが、JR九州は新幹線以外の在来線にも魅力的な観光特急を投入し、各地域の魅力まで引き出している。鹿児島中央駅から、来春、指宿方面への新観光特急や宮崎方面へはリレーつばめで活躍中の787系車両投入が発表されている。指宿、霧島、吉松などの温泉地・観光地へ新幹線からのお客様が乗継がれることが予想され、在来線も広告媒体の価値向上が期待される。

4. 中心市街地 天文館と市営電車

駅から約1.5キロに位置する天文館。創業260年の老舗百貨店「山形屋」（年商約520億円）をはじめ、ファッションビル、テナントビル、アーケード、歓楽街、飲食店舗、公私営バスの交通網もここに集まる。鹿児島市交通局の市営電車（鹿児島駅〜谷山：9.4km／全2系統／広告掲出可能車両41両）は、ラッピング電車や車内広告はじめ、市中に効率的な宣伝が可能で、鹿児島の景観の一部にもなっている。空き店舗が目立ち、郊外店舗の展開も多様であるが、鹿児島市の中心は天文館。新しいまち鹿児島中央駅周辺と天文館地区との回遊・連携が、新幹線全線開業後の鹿児島発展のカギを握る。

5. これからの九州・鹿児島 と交通広告

①時間短縮↓九州の鉄道（交通）時間地

図の大きな変化

②鹿児島中央〜新大阪／山陽新幹線との相互直通運転開始↓関西・中国地方との交流拡大

③KTX（韓国高速鉄道）全線開通／本年11月1日（ソウル〜釜山2時間18分へ※現行より22分短縮）↓韓国、アジア圏との交流拡大
あと3ヶ月後には動き出す。

駅は、地域の玄関口。鉄道広告は、地域を映す鏡。日本の「駅」は、物販・飲食・サービス機能など見事なまでにコンパクトに集積されている。駅は日本の文化そのもので、鉄道広告はその情報発信の大切な部分を預かっている。自らの足元の食・歴史・人など文化を学び、そのもとに成り立つ企業文化を鉄道広告に反映することが、駅の魅力を高め、九州・鹿児島へ足を運ばれるお客様への安全で有益なサービスになる。



鹿児島中央駅「みやげ横町」

広場

「中国を訪問して ～上海・マカオ～」

常任理事 小野寺 忠之 (株式会社 春光社)



上海のシンボル東方明珠塔

上海浦東国際空港に到着し、まず驚いたのは空港の広さとそれに比較したスケールの大きい広告媒体の迫力だった。巨大な看板が立ち並び、不思議なくらい広告面が生き生きとしている。見ている人に強く訴えかけてくるような勢いを感じた。

空港から時速480kmのリニアモーターカーに乗り8分ほどで龍陽路駅に到着。初めて乗ったリニアモーターカーは静かで振動も少なく乗り心地はよかったが、車内の広告はシートカバーだけだった。ここから観光バスで上海中心部へ。

上海市内は黄浦江を挟んでヨーロッパ風の建物が立ち並び外灘と、グローバルな経済の中心地浦東とからなっている。アジア第1

10月17日から5日間にわたり、弊社のクライアントが主催した「上海・マカオ流通視察ツアー」に参加した。現在、ニュースで何かと話題になっている国だが、経済成長著しいこの国を、私が観たまま感じたままとして書いてみたい。

今の時代は、広告ご掲出のお客様にとって「媒体」選択が難しい時代。新幹線の全線開業で交通事情が大きく変化する今、直接接触し、消費行動により

近いなど、鉄道広告の本質・媒体価値をより認知して頂き、さらなる需要の掘り起こし・鉄道広告の価値向上に汗をかく所存です。

また、皆様の九州・鹿児島へのお越しを心よりお待ちしております。

※車両、駅舎・駅ビル外観の写真は、(株)ジェイアール九州エージェンシー鹿児島支店よりご提供いただきました。

位の高さを誇る東方明珠塔(468m)や超高層ビルが立ち並んだ景色は圧巻で、まるで上海の発展を象徴しているかのように感じた。また高層ビルのデザインの美しさもさることながら、夜間の見事なライトアップは「24時間眠らない都市・上海」のイメージを強く与え、中国の経済の発展を支えてきた都市を印象づけている。



上海万博の日本館を臨む

私が会場面積が愛知万博の3倍もあるという上海万博を訪れたときは、閉会間近ということもあって非常に混雑しており、当日の入場者数は一日で104万人だった。会場内ではほとんど中国語しか聞こえず、中国国内からのツアー客が多かったような気がする。中国都心部での初の開催と最終入場者数が予想を上回る7300万人だったことを考えると、上海のみならず中国という国の勢いには計り知れないものを感じる。ちなみに日本館、中国館は入場までに4、5時間待ちと聞き諦めざるを得なかった。

次の訪問地マカオは世界遺産とエンターテインメントが交差する街といわれ、22の歴史的



マカオの世界遺産聖ポール天守跡

建造物と8カ所の広場が「マカオ歴史市街地区」として世界文化遺産に登録されている。聖ポール天主跡やセナド広場はポルトガル領時と全く変わっていないかったが、カジノとともに世界的な大型ホテルが進出してきたことにより、外装に施されたきらびやかなネオンが人口50万人の都市・マカオを確実に変化させた。これからも進化し続けるマカオに、ポルトガルから伝わった建築物や街並みが失われることのないよう祈りたい。

現在、中国には尖閣諸島問題などで反日感情があるため出発前は心配したが、現地での流通状況を視察してみると、日本人の経営者と中国人の社員が相互に理解・協力し合っており、同じ目標に向かっていく姿を目にすることができたことを報告させていただく。

10月21日、台風の上を飛ぶ機内で、今後も日本と中国がよりよい関係を築きあげていくことを願わずにはいられなかった。

次回は北海道支部長山口力氏の予定です、お楽しみに。

決算総会を開催しました

10月29日(金)ジェイアール東日本企画10B会議室において225名の会員が出席(内本人出席27名、代理人出席13名、委任状出席185名)し開催した。

第1号議案

公益社団法人移行に伴う社団法人
全国鉄道広告振興協会期間
(H22・4・1～H22・8・9)の決算
について



監査報告をする穴戸旦監事

河田専務理事から説明のあと、穴戸旦監事より監査報告があり、挙手による採決の結果、定款第27条に基

づく委任状185名を含む過半数の賛成により、本議案は議決された。

報告事項

- ①当協会法人化の経過について
- ②公益社団法人認定書について
- ③第4回地球温暖化防止キャンペーンポスター掲出事例集について
- ④平成23年広告界合同年賀会につ

岩崎会長挨拶

本日は大変お忙しいところをご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は、当協会の前身である社団法人全国鉄道広告振興協会の4月1日から8月9日までの決算総会です。

新法人改革については、2008年9月、福岡で開きました理事会で

初めて説明し、その後法人改革特別委員会や理事会での度重なる審議を経て成案を得、2009年6月10日の理事会及び総会で承認を得、最終調整の上9月28日に公益社団法人化を内閣総理大臣に申請いたしました。

今年の6月25日に開いた定期総会時点ではまだ審査中であり、内閣総理大臣から当協会に最終的に認定が下ったのは、8月5日のことで、設

立登記が完了した8月10日に正式に公益社団法人日本鉄道広告協会となりました。

審査の最後の段階で問題になったのは、議決権に関することです。全国展開をされている大規模な会員社では各地に支社を展開され、それぞれ独立採算制で経営されておられる訳ですので、当初の定款案ではそれらの支社をひとつの事業単位と認め

いて

以上をもって決算総会は滞りなく終了した。



会員のみなさま

てそれに議決権を持っていたかどうかとしたのですが、認定委員会から、新定款には議決権は法人ひとつにつき1個とすると書いてあるので但し書きの承認団体という考え方はおかしいのではないかという意見が出ました。実態が独立採算を執っているとしても、そこに議決権を与えるとするのは定款と矛盾するという指摘です。色々と実情を説明いたしました。が、結局、支社については、議決

権のない団体とし、今後の検討課題としました。

さて、公益社団法人となり、これからの事業の進め方がどうなるのかということについてですが、これは今までと変わらないということをご理解いただきたいと思います。これからも協会が公益目的事業として行なうことは、まず1つは倫理性、品位の保持に関することです。既に倫理綱領や掲出基準を制定しておりますし、倫理性に関する審査体制も整備されております。2つ目は美観風致との調和に関する事業で、例え

ば環境ポスターキャンペーンなどが代表的事例と云えます。これはこれからの継続していきます。それから安全に関する事業です。鉄道広告には危険を伴う作業も多く、事故が起されば人身傷害や列車支障となりますので、安全確保に対する施策は公益的にも極めて重要です。それから今年12月には環境キャンペーンに引き続き、新たに交通マナーキャンペーンを行なうこととしています。鉄道広告を通して環境意識を高揚したり、交通マナーを呼びかけたり社会に働きかけるこれらの事業も公益事業です。

このような事業に対しこれまで年間5割強を超える予算をつぎ込んでおりましたので、自然体でこれまでどおりやっていけば、公益性というものとは維持できるということです。仕事のやり方が変わることもありませんが、公益にしばられて窮屈になるというようなことはありません。

同じことが言えます。事業を進められる上において、この付加された信用を、大いに生かしていただきたいと思います。

以上のことをお願いいたします。私の挨拶とさせていただきます。



岩崎会長

支部便り

近畿・中国・北陸支部

交通広告実務研修を開催しました

9月9日(木) 13時より(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ会議室において平成22年度の「交通広告実務研修」を開催しました。

研修開始にあたり、浅沼支部長より挨拶がありました。

今回は、これまでの若手社員を対象とした研修から、中堅クラス以上の社員を主な対象と設定し、「交通広告ビジネス概論」という基本を押さえつつ、新しい切り口のテーマを盛り込みました。

特に「OOHにおいてデジタルサイネージ・モバイルを連動させた展開について」の講義では、国内と海外の広告展開事例の紹介や、*AR(拡張現実) 技術を活用した事例など興味深い展開について、情報の共有化が出来たものと思っています。

また、「交通広告のアカウントビリティについて」では、実際の交通広

告展開事例における効果検証結果の説明があり、今後のアカウントビリティ対策に於いて参考となる事例研究となったのではないかと思います。

研修には近畿地区に加え広島や金沢の会員企業からも参加があり、63名の参加者数となりました。

最後に、業務ご多忙な折り貴重な

時間を研修に割いていただきました講師の皆様方に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

カリキュラム及び講師などは次のとおりです。



開会の挨拶をする浅沼支部長



金沢一幸氏

「交通広告ビジネス概論」

金沢一幸氏

株式会社メトロアドエージェンシー

「OOHにおいてデジタルサイネー



奥から岩見貴敏氏、佐藤勝氏、五島淳氏



浅沼憲氏

ジ・モバイルを連動させた展開について」

岩見貴敏氏、佐藤勝氏、五島淳氏
株式会社電通関西支社

「交通広告のアカウントビリティについて」

浅沼憲氏

株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ

*AR..

augmented reality

アグメンティドリアリティ

①ヴァーチャルリアリティ

実際に得られる知覚情報にコンピュータで情報を加えたりする技術の総称

首都圏支部

交通広告実務研修を開催しました

近畿・中国・北陸支部に続き、9月27日(月)、JAFFRA首都圏支部主催の「交通広告実務研修」をジェイアール東日本企画会議室にて開催した。

実務研修は今年で4回目となり、多くの受講生を集めてきた。これまで受講者の多くは入社2～3年の新入社員がしめていたが、最近はある程度実務を経験した中堅社員が自己研鑽も兼ねて受講するケースが増えてきている。このため、今回の研修に向けて、毎年研修後に行なうアンケートの集計を参考に、JAFFRA人材育成委員会ワーキンググループを中心にカリキュラムの見直しを行った。

その結果、具体的な事例を数多く取り上げた「広告展開事例研修」、広告活動にとっては忘れてはならない景品表示法等を取り上げた「広告法務研修」、広告に携わるにあたって不可欠になってきている環境問題を取り上げた「環境研修」を新たにカリキュラムに加えた。

交通広告の倫理綱領、掲出基準に関する「掲出基準研修」、掲出撤去作業時の安全対策に関する「安全研修」、交通広告の概要と実務に関する「ビジネス概論」といった実務の基幹となる部分はこれまでどおり実施した。

参加者からは次のような感想が寄せられた。

「他にも研修会等を受講したが、本講習では細かいところまで話を聞くことができた。作業手順の大切さなどを改めて学ぶことができた。」

(37歳・営業)

「掲出基準研修が特に役に立った。普段知ることのできない分野の内容だったので実務の面で活かせる。また、ビジネス概論もコンパクトに交通広告について説明がなされ役に立った。」

(29歳・マーケティング)

「広告法務や環境等の研修は普段あまり聞けない内容だったので参考になった。」

(26歳・営業)

「交通広告の業務に携わるようになって間もないが、カリキュラム・資料・説明内容がバランス良く構成されていて分かりやすかった。」

(31歳・媒体)

「ビジネス概論は意外に知らない基礎

知識等が整理できて大変わかりやすかった。広告展開事例研修も失敗したケースの分析等めったに聞くことができない話や、具体的な提案内容まで聞くことが出来、非常に充実の内容だった。」

(24歳・媒体)

次回も皆さまにご協力いただいたアンケートを参考に、さらに有効な研修を開催したいと思う。

カリキュラム及び講師は以下の通り。

「広告法務研修」

清水啓二氏

(株)ジェイアール東日本企画



清水啓二氏

「掲出基準研修」

中尾規生氏

(株)ジェイアール東日本企画



中尾規生氏

「交通広告ビジネス概論」

金沢一幸氏

(株)メトロアドエージェンシー



金沢一幸氏

「広告展開事例研修」

旭爪利砂氏

(株)ジェイアール東日本企画



旭爪利砂氏

「安全研修」「環境研修」

曾我祐行氏

(株)東京メディア・サービス



曾我祐行氏

ブログはじめました

JAFRA技術開発委員会のブログ

公益社団法人日本鉄道広告協会(JAFRA)技術開発委員会の活動報告のブログです。



次世代の鉄道広告を、みなさんと共に考えたい。
デジタルサイネージを活用した次世代型の鉄道広告の開発に寄与するため、有識者やメーカーの方との情報交換を行っています。

技術開発委員会(委員長 浅沼唯明(株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ代表取締役社長)では委員会の活動報告のためのブログを始めました。会員の皆さまだけではなく、鉄道を利用される皆さまにも鉄道広告の現状、鉄道広告がチャレンジしていることなどを広くお知らせできればと考えています。

JAFRAホームページの委員会のページからもリンクしておりますが、おおよそ毎月1回のペースで新しい情報を掲載しております。

第1回は、デジタルサイネージコンソーシアム副理事長窪田賢雄氏(パナソニック(株)チームリーダー)をお招きした座談会、第2回は、「イオンチャンネル」を展開されているイオンアイビス(株)の北澤清氏をお招きして開催した座談会の模様を公開しています。

座談会の感想、皆さまが知りたいこと、それからご要望などもお待ちしておりますので、お気軽にコメントをお寄せ下さい。

ブログのアドレスはこちら！
<http://ameblo.jp/jafra-tdc>

お詫びと訂正

会員名簿に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P9
(株)鉄道広告協会の
正 17010013
東京都豊島区東池袋1-36-7
アルテール池袋310

- 社名変更に伴ない、JAFRA事務局宛のメールアドレスが変更となりました。新しいアドレスはinformation@j-jafra.jpです。また、ホームページのアドレスも<http://j-jafra.jp>に変更となりました。ブックマークをされている方は変更をお願いいたします。
- 会社員の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力をお願いします。

編集後記

最近夜になるのが早く、10Fのオフィスからきれいな夕焼けが見える日があります。窓から東京タワーが見えるのですが、こんな風景は映画の「Always 3丁目の…」を思い出します。この近辺からも成長中の東京スカイツリーが見えるらしいのですが、どのくらいの大きさに見えるのでしょうか。方角的には左のビルの向こう側のはずなのですが…。JAFRA NEWS今年の発行はこれが最終です。今年も色々なことがありましたが、また来年も皆さまのご協力をいただいて情報を共有できればと思います。来年もよろしくお願いいたします。

- メールと写真、ご意見、ご感想をお待ちしております。



デジカメの夕焼けモードで撮影した東京タワー